

主要施策名：(4)観光・物産プロモーションの推進

事務事業本数:14

基本目標(章)	主要施策(節)	所管課	事務事業コード	事務事業
③賑わいと活力ある産業づくり	(4)観光・物産プロモーションの推進	観光物産課	340-02	玉名ブランド推進事業
			340-03	マスコット管理事業
			340-04	玉名市観光振興計画事業
			340-06	施設等管理運営事業
			340-07	草枕の里事業
			340-08	イベント誘客事業
			340-09	金栗四三PR事業
			341-01	受け入れ態勢整備事業
			341-02	情報発信事業
			341-03	インバウンド推進事業
			342-01	玉名圏域定住自立圏事業
			342-02	協議会等連携・支援事業
			342-03	鍋松原管理運営事業
			344-01	玉名版DMO構築事業

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	玉名ブランド推進事業		所管課 【2】	観光物産課		
	作成者(担当者)		上土井 夏美			
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③賑わいと活力ある産業づくり		重点 施策 【4】		
	主要施策(節)	(4)観光・物産プロモーションの推進				
	施策区分				□ 該当	
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	□ 市長公約					
	□ 法令、県・市条例等【 】			□ 該当なし		
事業区分 【6】	■ ソフト事業	□ 義務的事業	□ 建設・整備事業	□ 施設の維持管理事業		
	□ 内部管理事務	□ 計画等の策定及び進捗管理事務				
会計区分 【7】	■ 一般会計	□ 特別・企業会計【 】	】 款 7 項 1 目 2 細目 2			

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	ますます深刻化する過疎化や少子化による人口の減少、地方財政自立化促進への社会的動き、さらには厳しい財政状況のなか地域産業の振興と活性化を図るために、「玉名の逸品」を対外的に周知し認知度やイメージを向上させ販路拡大を図る必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	玉名ブランド物産協会会員、6次産業関係事業者、玉名観光協会物産販売部会
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	玉名地域の知名度アップを図り、産業振興と地域活性化を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	□ 単年度のみ 【 年度】	■ 単年度繰返し 【 H19 年度から】	□ 期間限定複数年度 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	□ 国	□ 県	■ 市 □ 民間
実施方法 【13】	■ 直営	□ 全部委託・請負	□ 一部委託・請負
事務事業の具体的な内容 【14】			【15】 事務事業を構成する細事業(3)本 ⇒ ① 玉名ブランド物産PR事業 ② キラリかがやけ玉名物産展事業 ③ 「玉名の逸品」販路拡大事業

《事務事業実施に係るコスト》

		R04年度決算	R05年度決算	R06年度決算	R07年度予算	全体計画
事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0
	受益者負担	0	0	0	0	0
	その他	0	0	35	140	0
	一般財源	4,762	6,224	7,035	8,107	0
	【16】 小計	4,762	6,224	7,070	8,247	0
投入コスト 職員件の費	職員人工数	0.57	0.97	0.79	0.00	
	職員の年間平均給与額(千円)	5,429	5,554	5,727	5,752	
	会計年度任用職員人工数	0.00	0.00	0.00	0.00	
	会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)	1,382	1,325	2,273	2,034	
	【17】 小計	3,095	5,387	4,524	0	
合 计		7,857	11,611	11,594	8,247	

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R04実績	R05実績	R06実績	R07計画
① 玉名ブランド物産PR事業	集客が多いイベントへブース出展して、ブランド物産品をPRする	イベントへの参加回数(福岡物産展、東京、大阪など)	回	6	7	7	7
② キラリかがやけ玉名物産展事業	物産展を開催してブランド物産品を販売する	大阪フェアへの参加業者の件数	件	7	9	8	8
③ 「玉名の逸品」販路拡大事業	大手量販店と市内事業者の商談会を行い、販路を拡大する	商談会回数	件	—	—	1	1

《事務事業の成果》 [19]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R04目標	R05目標	R06目標	R07目標
			R04実績	R05実績	R06実績	△
1 「玉名の逸品」販路拡大事業	大手量販店と市内事業者の商談会により販売契約に繋げる	件			5	5
2 玉名市物産展での売上	物産展でのブランド物産品の販売額	千円	2500	5000	5200	6500
			4114	5145	6119	△

《事務事業の評価》

評価視点		判断理由		
(必妥要当性)【20】	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)。	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない	一部、市名義でなければ会場の確保が困難な場合もあるため、ある程度の取り計らいが必要である	
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり	社会情勢の変化はあるものの、玉名ブランド推進に関する目的は変化していないため、見直しは必要ない	
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり	玉名ブランドのPRが出来ないことによって、認知度や顧客離れ、販売額低下の恐れがある。	
有効性【21】	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。 達成、未達成の原因はどのようなことが考えられるか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	物産展を継続して開催してきたことによる認知度の向上、固定客の増加などにより、売上額も増加した	
	【細事業の適当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当	玉名ブランドの認知度向上のため、細事業は適当である	
効率性【22】	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり	遠方での会場での物産展の在り方については、検討の余地があり、事業費を削減できる可能性がある	
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり	物産展の依頼について取りまとめを行う際、FAX中心となっているため、メール等の活用を推進するなどの余地がある	
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	可能な限り民間ノウハウを活用しており、これ以上検討の余地はない	
	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	類似する事業はない	
公平性【23】	受益者負担について、検討の余地はないか。 徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	これまで出店費用や旅費を全額支給することもあったが、今後は出店費用の負担や旅費を半額にするなど、受益者負担を実施し、民間へ事業を移管していくことを検討する。	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対する見直し・改善状況	(前回のふりかえりの内容)				
	今後、観光協会に「物産販売部会」を設立し、ブランド物産協会や6次産業関連事業者をはじめ、市内の生産者や事業者に広く加入を促していく。それらを「玉名の逸品」として情報発信を行い、認知度の向上、売り上げ額の増加など販路拡大を行っていく。				
(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況)					
これまで市主催の物産展は玉名ブランド物産協会の会員を中心に出店を行ってきたが、会員の高齢化や商品のマンネリ化などの問題に直面していた。「玉名の逸品」販路拡大事業を実施する中で、玉名ブランド物産協会以外の玉名市内の生産者や事業者にも商談会に参加してもらい、「玉名観光協会会員への加入も促すことで、新たに裾野を広げることが出来た。今後も、市内の生産者や事業者に広く加入を促していくながら、「玉名の逸品」の認知度の向上、販路拡大を行っていく。					
次年度の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了				
次年度の方向性に対する判断理由及び見直し・改善の具体的な内容	今後も観光協会の「物産販売部会」の体制を確立しながら、広く市内の生産者や事業者に加入を促していく。それらを「玉名の逸品」として情報発信を行い、認知度の向上、販路の拡大を行っていく。また、これまで東京、大阪、福岡など遠方で実施してきた物産展を、TSMC進出で人流や経済活動が活発となっている菊陽町や合志市など熊本県内での開催に変更することなども検討しながら事業を実施していく。				

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見	評価責任者
[26]	今後、玉名観光協会に「物産販売部会」を設け、玉名ブランド認定品と6次産品、成果物を部会の中で調整一体化を図り、玉名の逸品としてPR及び販路拡大に取り組む必要がある。 伊藤 恵浩

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	マスコット管理事業		所管課 【2】	観光物産課					
	作成者(担当者)		早田、上土井						
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③賑わいと活力ある産業づくり		重点 施策 【4】					
	主要施策(節)	(4)観光・物産プロモーションの推進							
	施策区分				□ 該当				
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	□ 市長公約								
	■ 法令、県・市条例等【玉名市マスコット「タマにゃん」の使用に関する規則】								
事業区分 【6】	□ その他の計画【】			□ 該当なし					
	■ ソフト事業	□ 義務的事業	□ 建設・整備事業	□ 施設の維持管理事業					
会計区分 【7】	□ 内部管理事務	□ 計画等の策定及び進捗管理事務							
	■ 一般会計	□ 特別・企業会計【】	款	7	項	1	目	2	細目

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	音楽イベントマスコットとして誕生し、平成23年度から玉名市のマスコット「タマにゃん」として正式に位置づけ商標登録している。その「タマにゃん」を玉名のイメージアップや認知度向上に積極的に活用していく必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	マスコット使用申請者及び着ぐるみ貸出申請者
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	タマにゃんの着ぐるみの貸出やマスコットの使用によって、市のPR活動やイメージアップにつなげ、市内外における玉名市の認知度の向上を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	□ 単年度のみ 【 年度】	■ 单年度繰返し 【 H19 年度から】	□ 期間限定複数年度 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	□ 国	□ 県	■ 市
実施方法 【13】	□ 全部委託・請負	□ 一部委託・請負	□ 補助金等交付
事務事業の具体的な内容 【14】			【15】 事務事業を構成する細事業(2)本 ⇒ ① 玉名市マスコット管理事業 ② マスコット製作業務 ③

《事務事業実施に係るコスト》

		R04年度決算	R05年度決算	R06年度決算	R07年度予算	全体計画
事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0
	受益者負担	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	211	216	1,178	368	0
	【16】 小計	211	216	1,178	368	0
投入コスト 職員件の費	職員人工数	0.18	0.17	0.18	0.00	
	職員の年間平均給与額(千円)	5,429	5,554	5,727	5,752	
	会計年度任用職員人工数	0.00	0.00	0.00	0.00	
	会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)	1,382	1,325	2,273	2,034	
	【17】 小計	977	944	1,031	0	
合 计		1,188	1,160	2,209	368	

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業		手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R04実績	R05実績	R06実績	R07計画
①	玉名市マスコット管理事業	マスコット画像及び着ぐるみの使用・貸出し・申請の審査・許可する。	使用申請審査件数 庁内使用件数	件	37	45	45	50
②	マスコット製作業務	着ぐるみの作成を行う。	着ぐるみの作成件数	件			1	
③								

《事務事業の成果》 [19]

	成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R04目標	R05目標	R06目標	R07目標
				R04実績	R05実績	R06実績	△
1	マスコット画像使用許可件数	マスコットの画像使用を許可した年間件数(外部)	件	30	15	15	25
				34	16	22	△
2	認知度向上	着ぐるみの市内外出動件数(庁内)	件	10	12	14	15
				4	21	14	△

《事務事業の評価》

		評価視点	判断理由	
（必妥要当性） 【20】	【実施主体の妥当性】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)。	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない	玉名市民音楽祭のマスコットとして誕生し、現在は玉名市の観光振興に寄与しているため。	
	【目的の妥当性】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり	前年度と社会情勢の変化はないため。	
	【休廃止の影響】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり	市内外への認知度も向上してきており、SNSのフォロワー数やキャラクター同士の交流の場を通じて自治体間の合同活動つながっている状況のため。	
有効性 【21】	【目標の達成度】 成果指標の目標は達成できたか。 達成、未達成の原因はどのようなことが考えられるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	昨年度に比べ、出動件数は減少しているが、目標件数には達したため。	
	【細事業の適当性】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当	外部への露出増加を目的とした内容となっているため適当である。	
効率性 【22】	【コストの低減】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	活動費として適当である。	
	【執行過程の見直し】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	商品以外の画像の使用については、印鑑不要としており、簡素化ができているため。	
	【民間活力の活用】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	他自治体では、業務を外部へ委託したり、地域住民に報酬を支払いアスターを手配している地域もある。民間のノウハウを活用することも検討する余地がある。	
	【類似事業との統合】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	類似する事業はないため。	
公平性 【23】	受益者負担について、検討の余地はないか。 徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	市民からの公募でマスコットとなったキャラクターであることから、受益者への負担をすることは適当ではないと考えられるため。	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対する見直し・改善状況 【24】	(前回のふりかえりの内容)
	着ぐるみ自体の寿命や、着ぐるみの出動率向上を目標にすることに伴い今年度着ぐるみを新調する。新調した着ぐるみを効果的に稼働できるようにも執行方法を改善していくことも検討する必要がある。
	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況)
	着ぐるみを1体新調したことにより、出動率が向上することを目標にしたが大きくなかったため、引き続き執行方法の改善を検討していく。しかし、画像の使用件数は増加していることから、全国的な認知度は向上している。
次年度の方向性 【25】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了
次年度の方向性に対する判断理由及び見直し・改善の具体的な内容	新調した着ぐるみも合わせて効果的に活用し、今後も出動率の増加やSNSの活用を行いタマにやん及び玉名市の認知度向上を図っていく。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【26】	評価責任者
府内や外部への貸出など県内外のイベントや催し物において、出動回数を増やし玉名市マスコット「タマにやん」の認知度向上や玉名市のPRを図る必要がある。また近年の状況から台湾をはじめ海外からの人気も出てきていることから海外への展開も力を入れていく必要がある。	伊藤 恵浩

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	玉名市観光振興計画事業		所管課 【2】	観光物産課		
	作成者(担当者)		大倉 千寿			
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③賑わいと活力ある産業づくり		重点 施策 【4】		
	主要施策(節)	(4)観光・物産プロモーションの推進				
	施策区分				□ 該当	
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	□ 市長公約					
	□ 法令、県・市条例等【 ■ その他の計画【 第2期玉名市観光振興計画 】	】		□ 該当なし		
事業区分 【6】	□ ソフト事業	□ 義務的事業	□ 建設・整備事業	□ 施設の維持管理事業		
	□ 内部管理事務	■ 計画等の策定及び進捗管理事務				
会計区分 【7】	■ 一般会計	□ 特別・企業会計【 】	款 7 項 1 目 4 細目 1			

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	平成24年度に策定した第1期玉名市観光振興計画から10カ年が経過しており、当初の計画時から観光産業の形態、ニーズは変化しているため、新たな観光ニーズの変化に対応したアクションプランを再構築する必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市内観光団体、市民、行政
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	地域住民や観光団体と協力して計画的かつ戦略的な観光振興を推進・展開することで「選ばれる玉名市」の実現を図ることを目指す。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	□ 単年度のみ 【 年度】	■ 単年度繰返し 【 R4 年度から】	□ 期間限定複数年度 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	□ 国	□ 県	■ 市 □ 民間
実施方法 【13】	□ 直営	□ 全部委託・請負	■ 一部委託・請負 □ 補助金等交付
事務事業の具体的な内容 【14】			【15】 事務事業を構成する細事業(1)本 ⇒ ① 第2期玉名観光振興計画進捗管理業務 ② ③
第2期玉名市観光振興計画の策定を行う。 策定支援を外部委託し、下記内容を策定する。 ①現状・課題の整理 ②基本方針 ③具体策の策定 ④戦略会議の運営 ⑤市場開拓 ⑥進捗管理			

《事務事業実施に係るコスト》

事業費 (千円)	投入コスト	職員件の費	R04年度決算	R05年度決算	R06年度決算	R07年度予算	全体計画
			国庫支出金	0	0	0	0
			県支出金	0	0	0	0
			起債	0	0	0	0
			受益者負担	0	0	0	0
			その他	0	0	0	0
			一般財源	5,500	0	0	0
			【16】 小計	5,500	0	0	0
			職員人工数	0.33	0.11	0.10	0.10
			職員の年間平均給与額(千円)	5,429	5,554	5,727	5,752
			会計年度任用職員人工数	0.00	0.00	0.00	0.00
			会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)	1,382	1,325	2,273	2,034
			【17】 小計	1,792	611	573	575
			合 计	7,292	611	573	575

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R04実績	R05実績	R06実績	R07計画
① 第2期玉名観光振興計画 進捗管理業務	本市の観光を取り巻く現状の調査と、観光戦略会議を開催し、観光振興計画を策定した。	観光戦略会議の実施回数		4	1	1	1
②							
③							

《事務事業の成果》 [19]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R04目標	R05目標	R06目標	R07目標
			R04実績	R05実績	R06実績	△
1						
2						

《事務事業の評価》

	評価視点	判断理由	
(必妥要当性)	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)。	<input type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない	
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり	
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	<input type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 影響あり	
有効性	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。 達成、未達成の原因はどのようなことが考えられるか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	
	【細事業の適当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当	
効率性	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	会議の開催に際し、ほとんど費用が発生しないため。
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり	会議参加者と事前及び日頃から計画の進捗状況についてヒアリングを行う等の改善を図る必要がある。
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	会議のメンバーに民間事業者等に参加してもらっている。
	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	類似する他の事業はない。
公平性	受益者負担について、検討の余地はないか。 徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	
[23]			

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対する見直し・改善状況	(前回のふりかえりの内容)
	計画の進捗状況の把握や改善点の検討について、事前に会議のメンバーや事業者への事前のヒアリング等を十分に行ったうえで会議を開催する。
	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況)
	計画の進捗状況を把握すると共に、観光課題の改善のために行っている取組の好例について、メンバーから発表を行ってもらった。
次年度の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了
次年度の方向性に対する判断理由及び見直し・改善の具体的な内容	令和5~9年までの計画の中間年にあたるため、計画の進捗状況の把握とともに、観光トレンドや地域の実情に合わせた内容への見直しを行う。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見	評価責任者
[26] 毎年観光戦略会議を開催し、策定した計画の進捗状況や改善点について会議のメンバーで共有し、効果検証を行っている。 今後、戦略会議委員の外部の意見を通じ、計画の進捗状況の把握や改善点の検討について会議を開催し、よりよい観光政策実現を図る必要がある。	伊藤 恵浩

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	施設等管理運営事業		所管課 【2】	観光物産課		
	作成者(担当者)		笠原 大志郎			
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③賑わいと活力ある産業づくり		重点 施策 【4】		
	主要施策(節)	(4)観光・物産プロモーションの推進				
	施策区分				□ 該当	
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	□ 市長公約					
	■ 法令、県・市条例等【 観光ほっとプラザ「たまララ」条例、玉名市ふるさとセンターY・BOX条例等 】					
事業区分 【6】	□ ソフト事業	□ 義務的事業	□ 建設・整備事業	■ 施設の維持管理事業		
	□ 内部管理事務	□ 計画等の策定及び進捗管理事務				
会計区分 【7】	■ 一般会計	□ 特別・企業会計【	】	款 7 項 1 目 4 細目 2		

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	地域資源を活用し、多くの観光客に来場してもらい経済効果を生むとともに、資源を有する地域の活性化を図る必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	利用者
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	経営状態によって業務委託もしくは指定管理者制度導入を検討するなど、適切な運営管理と利用者の増加を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	□ 単年度のみ 【 年度】	■ 単年度繰返し 【 H17 年度から】	□ 期間限定複数年度 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	□ 国	□ 県	■ 市 □ 民間
実施方法 【13】	□ 直営	□ 全部委託・請負	□ 一部委託・請負 □ 補助金等交付 ■ その他【 指定管理者制度 】
事務事業の具体的な内容 【14】	<p>・「たまララ」、Y・BOX他2施設、玉の湯、草枕温泉てんすい他5施設は指定管理制度における基本協定に基づき、指定管理者により適切な管理運営を行う。また、Y・BOX他2施設、玉の湯、草枕温泉てんすい他5施設については、令和10年までの民営化を見据えた管理運営を行っていく。</p> <p>・小岱山ふるさと自然公園は委託により管理及び巡回活動を行う。</p> <p>・草枕交流館、前田家別邸については本課所管の基、適切な維持管理を行う。</p> <p>・日嶽は日嶽公園巡回・清掃管理業務委託により、定期的な巡回及び清掃活動を行う。</p>		
	<p>【15】 事務事業を構成する細事業(14)本</p> <p>⇒</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 前田家別邸樹木剪定・伐採事業 ② 草枕交流館・前田家別邸中規模改修・長寿命化事業 ③ 観光ほっとプラザ「たまララ」指定管理業務 		

《事務事業実施に係るコスト》

	R04年度決算	R05年度決算	R06年度決算	R07年度予算	全体計画
事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	2,422	3,195	2,503	1,462
	起債	11,800	0	0	0
	受益者負担	0	0	0	0
	その他	2,456	0	0	0
	一般財源	45,140	54,717	29,105	85,748
	【16】 小計	61,818	57,912	31,608	87,210
投入コスト 職員件の費	職員人工数	1.28	1.65	1.37	1.37
	職員の年間平均給与額(千円)	5,429	5,554	5,727	5,752
	会計年度任用職員人工数	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)	1,382	1,325	2,273	2,034
	【17】 小計	6,949	9,164	7,846	7,880
	合計	68,767	67,076	39,454	95,090

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R04実績	R05実績	R06実績	R07計画
① 前田家別邸樹木剪定・伐採事業	基本協定に基づき、指定管理者に管理運営を行わせる。	開館日数	日	365	365	***	***
② 草枕交流館・前田家別邸中規模改修:長寿命化事業	設計、業者選定後施工進捗管理	施工管理、完了検査	日	***	***	365	365
③ 観光ほっとプラザ「たまララ」指定管理業務	委託により管理を行う。	巡回回数	回	365	365	365	365

《事務事業の成果》 [19]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R04目標	R05目標	R06目標	R07目標
			R04実績	R05実績	R06実績	△
1 利用者数	たまララ、小岱山ふるさと自然公園(ビジターセンター、キャンプ場利用者数)、Y・BOXの延べ利用者数	人	160,000	168,000	183000	172000
			167,351	182148	171529	△
2 利用者数	玉の湯、草枕温泉ほか5施設の延べ利用者	人	330,000	430,000	450,000	440000
			430,186	437,259	425283	△

《事務事業の評価》

評価視点		判断理由		
(必妥要当性)	【実施主体の妥当性】[20-1] 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)。	□ 市が実施すべき ■ 市が実施する必要はない		
	【目的の妥当性】[20-2] 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	■ 必要なし □ 必要あり		
	【休廃止の影響】[20-3] 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	□ 影響なし ■ 影響あり		
有効性	【目標の達成度】[21-1] 成果指標の目標は達成できたか。 達成、未達成の原因はどのようなことが考えられるか。	□ 達成 ■ 未達成	温泉関係は主たる利用者がリピーターの高齢者のためその人の減少、キャンプ場関係についてはブームが落ち着いたことによる利用者数減少が一因と考えられる	
	【細事業の適当性】[21-2] 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	■ 適当 □ 不適当	施設の適正管理のためには適当である	
効率性	【コストの低減】[22-1] コストの低減について、検討の余地はないか。	■ 余地なし □ 余地あり	現状コスト低減の余地はない	
	【執行過程の見直し】[22-2] 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	■ 余地なし □ 余地あり	可能な限り簡素化しており検討の余地はない	
	【民間活力の活用】[22-3] 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	□ 余地なし ■ 余地あり	民間事業者のノウハウを自主事業に活用する余地はある	
	【類似事業との統合】[22-4] 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	■ 余地なし □ 余地あり	類似事業はない	
公平性	受益者負担について、検討の余地はないか。 徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	■ 余地あり □ 余地なし	利用料金等個別の状況により受益者負担の検討の余地あり	
[23]				

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対する見直し・改善状況	(前回のふりかえりの内容)
	玉の湯や草枕温泉てんすいほか5施設、たまララ、Y・BOXほか2施設については、令和10年度の民営化を見据え継続して検討を行っていく。また、その他の施設においては適切に維持管理を行なう。錦松原海岸関係については、施設の指定管理業務や海岸全体の整備など業務自体が煩雑なものにならっているため別の事務事業として管理し、施設の改修や整備について計画どおり進めしていくと共に来訪者数の増加に向け指定管理者のイベントやキャンプ・BBQ運営について改善を行うよう協議を行っていく。 日嶽については、今後も県の補助金を活用し遊歩道の経年劣化箇所の解消に努める。小岱山については、今後も利用者が安全に利用できるよう適正管理を委託業者にお願いする。
[24]	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況)
	玉の湯や草枕温泉てんすいほか5施設、たまララ、Y・BOXほか2施設については、令和10年度の民営化を見据え継続して検討を行った。また、その他の施設においては適切に維持管理を行なった。日嶽については、県の補助金を活用し遊歩道の経年劣化箇所の解消に努めた。小岱山については、利用者が安全に利用できるよう適正管理を委託業者に依頼した。
次年度の方向性	□ 拡充して継続 ■ 現状のまま継続 □ 縮小して継続 □ 執行方法の改善 □ 休止・廃止 □ 終了
	玉の湯や草枕温泉てんすいほか5施設、たまララ、Y・BOXほか2施設については、令和10年度の民営化を見据え継続して検討を行っていく。また、その他の施設においては適切に維持管理を行う。日嶽については、今後も県の補助金を活用し遊歩道の経年劣化箇所の解消に努める。小岱山については、今後も利用者が安全に利用できるよう適正管理を委託業者にお願いする。
次年度の方向性に対する判断理由及び見直し・改善の具体的な内容	

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見	評価責任者
[26] 玉の湯や草枕温泉てんすいほか5施設、たまララ、Y・BOXほか2施設については、令和10年度の民営化を見据え継続して検討を行っていく。また、その他の施設においては適切に維持管理を行なう。錦松原海岸関係については、施設の改修や整備について計画どおり進めいくと共に来訪者数の増加に向け指定管理者のイベントやキャンプ・BBQ運営について改善を行うよう協議、条例の整備を行っていく。日嶽については、今後も県の補助金を活用し遊歩道の経年劣化箇所の解消に努める。小岱山については、今後も利用者が安全に利用できるよう適正管理を委託業者にお願いする。	伊藤 恵浩

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	草枕の里事業		所管課 【2】	観光物産課		
	作成者(担当者)		大倉 千寿			
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③賑わいと活力ある産業づくり		重点 施策 【4】		
	主要施策(節)	(4)観光・物産プロモーションの推進				
	施策区分				□ 該当	
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	□ 市長公約					
	■ 法令、県・市条例等【玉名市草枕交流館条例、前田家別邸条例】					
事業区分 【6】	□ その他の計画【】			□ 該当なし		
	■ ソフト事業 □ 義務的事業 □ 建設・整備事業 □ 施設の維持管理事業					
会計区分 【7】	□ 内部管理事務 □ 計画等の策定及び進捗管理事務	■ 一般会計 □ 特別・企業会計【】	□ 款 7 項 1 目 4 細目 3			

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	玉名市天水町にしかない地域資源を最大限に活用し、地域の活性化及び観光客誘客を図り魅力ある観光地域づくりを行うことが必要である。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市民及び観光客
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	草枕の里を適切に管理することにより、訪れる観光客の満足度やイメージを向上させ「また来たくなる」リピーターの増加を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	□ 単年度のみ 【 年度】	■ 単年度繰返し 【 H17 年度から】	□ 期間限定複数年度 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	□ 国 □ 県 ■ 市 □ 民間	□ その他【】	
実施方法 【13】	■ 直営 □ 全部委託・請負 □ 一部委託・請負 □ 補助金等交付	□ その他【】	
事務事業の具体的内容 【14】	<p>・会計年度任用職員を配置して適切な管理運営を行う。 ・施設の維持管理においては有効活用を図りながら維持管理を行う。また、維持管理を実施する中で、漱石館保存会の支援を受け雑草の除去、樹木の剪定等を行っている。この漱石館保存会に対しては、補助金交付を行っている。 ・天水地域の観光関連事業所で構成された「天水・草枕の里観光協議会」の事務局的な機能も有している。</p>		
	<p>【15】 事務事業を構成する細事業(1)本 ⇒ ① 草枕交流館・前田家別邸運営事業 ② ③</p>		

《事務事業実施に係るコスト》

事業費 (千円)	投 入 コ ス ト	職人 員 件 の 費	R04年度決算	R05年度決算	R06年度決算	R07年度予算	全体計画
			国庫支出金	0	0	0	0
			県支出金	0	0	0	0
			起債	0	0	0	0
			受益者負担	0	0	0	0
			その他	0	0	0	0
			一般財源	3,920	5,454	3,145	2,902
			【16】 小 計	3,920	5,454	3,145	2,902
			職員人工数	0.40	0.32	0.27	0.27
			職員の年間平均給与額(千円)	5,429	5,554	5,727	5,752
			会計年度任用職員人工数	4.34	3.00	3.36	3.36
			会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)	1,382	1,325	2,273	2,034
			【17】 小 計	8,170	5,752	9,183	8,387
			合 計	12,090	11,206	12,328	11,289

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R04実績	R05実績	R06実績	R07計画
① 草枕交流館・前田家別邸運営事業	草枕交流館を拠点に前田家別邸等、地域資源を活かしたイベントを行う。	草枕交流館開館日数	日	307	310	307	308
②							
③							

《事務事業の成果》 [19]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R04目標	R05目標	R06目標	R07目標
			R04実績	R05実績	R06実績	△
1 草枕交流館来館者数	草枕交流館の延べ来館者数	人	2000	5000	5000	5000
2			2976	3398	3398	△

《事務事業の評価》

	評価視点	判断理由	
(必妥要当性)【20】	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)。	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない	現状、市が実施すべきであるが、将来的に玉名観光協会等による指定管理での運営について検討を行う。
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり	社会情勢が変化しても、目的が変わるものではないため。
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり	交流人口の減少により、域内の消費が低下する。
有効性【21】	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。 達成、未達成の原因はどのようなことが考えられるか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	内容の大きなりニューアルがないことや、イベントのマンネリ化等によるのではないかと考えられる。
	【細事業の適当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当	適当である。
効率性【22】	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	これ以上、コストを低減する余地はない。
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	これ以上、執行過程を簡素化する余地はない。
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり	玉名観光協会を指定管理者にするなど、民間事業者のノウハウ活用検討の余地がある。
	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	類似事業はない。
公平性【23】	受益者負担について、検討の余地はないか。 徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	草枕交流館や前田家別邸の見学料等の徴収を検討する余地がある。

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対する見直し・改善状況 [24]	(前回のふりかえりの内容) 地元や関係各所と協議を行い、指定管理者制度導入に向けた協議を行う。また、熊本市等近隣自治体とも連携した事業の展開を検討する。
	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況) 草枕交流館単体での指定管理者制度導入に向けた協議は行えていないが、熊本市と連携したリーフレット等の作成を行った。
次年度の方向性 [25]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了
次年度の方向性に対する判断理由及び見直し・改善の具体的な内容	R8年度に夏目漱石の来熊130周年、R9年度に生誕160周年と記念年が続くため、熊本市等近隣自治体と連携した記念事業を検討、前年であるR7年度からその準備を行い、来館者数増加に向けた取り組みを実施する。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 [26]	文豪「夏目漱石」は他にない地域資源であることから、プラスアップを図り観光ルートや「旅行商品」としての造成を目指す。今後さらなる観光客誘客に結びつけ、魅力ある地域づくり、過疎解消につなげる取組みも検討したい。	評価責任者 伊藤 恵浩
----------------------	---	----------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	イベント誘客事業		所管課 【2】	観光物産課			
	作成者(担当者)		大倉 千寿				
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③賑わいと活力ある産業づくり				重点 施策 【4】	
	主要施策(節)	(4)観光・物産プロモーションの推進					
	施策区分					□ 該当	
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	■ 市長公約					】	
	□ 法令、県・市条例等【					】 □ 該当なし	
事業区分 【6】	■ ソフト事業	□ 義務的事業	□ 建設・整備事業	□ 施設の維持管理事業			
	□ 内部管理事務	□ 計画等の策定及び進捗管理事務					
会計区分 【7】	■ 一般会計	□ 特別・企業会計【					】 款 7 項 1 目 4 細目 4

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	玉名市の観光振興戦略として、数多くある観光資源を活かした魅力あるイベントを開催することにより、観光客の誘客を促すことで、地域の活性化を図る必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市民及び観光客
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	さまざまなイベントを実施することで、多くの観光客にきてもらい、玉名市の経済効果を生み活性化を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	□ 単年度のみ 【 年度】	■ 单年度繰返し 【 H17 年度から】	□ 期間限定複数年度 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	□ 国	□ 県	■ 市 □ 民間
実施方法 【13】	□ 直営	□ 全部委託・請負	□ 一部委託・請負 ■ 補助金等交付 □ その他【】
事務事業の具体的な内容 【14】	<p>■ 事務事業を構成する細事業(11)本</p> <p>⇒</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 玉名大俵まつり事業 ② 高瀬裏川花しょうぶまつり事業 ③ 山田の藤PR事業 <p>・玉名大俵まつりや高瀬裏川花しょうぶまつりの各実行委員会に補助金を交付する。また、玉名大俵まつりの事務局は観光物産課が担っている。 ・夏目漱石ゆかりの地である天水地区でのウォーキングイベントを実施している。 ・ピーチサッカー大会やアウトドアスポーツ、トレイルラン等の開催、後方支援をしている。 ・eスポーツの複数種目を争う大会や一般向けの体験会も実施する。また温泉とeスポーツを掛け合わせ、他自治体との温泉とeスポーツ交流を行う。</p>		

《事務事業実施に係るコスト》

事業費 (千円)	投入コスト	職人員件の費	R04年度決算	R05年度決算	R06年度決算	R07年度予算	全体計画
			国庫支出金	0	0	0	5,500 0
			県支出金	0	0	0	0 0
			起債	0	0	0	0 0
			受益者負担	0	0	0	0 0
			その他	0	0	0	0 0
			一般財源	9,017	19,081	21,672	25,029 0
			【16】 小計	9,017	19,081	21,672	30,529 0
			職員人工数	1.13	1.20	1.92	1.92
			職員の年間平均給与額(千円)	5,429	5,554	5,727	5,752
			会計年度任用職員人工数	0.00	1.00	0.00	0.00
			会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)	1,382	1,325	2,273	2,034
			【17】 小計	6,135	7,990	10,996	11,044
			合 计	15,152	27,071	32,668	41,573

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R04実績	R05実績	R06実績	R07計画
① 玉名大俵まつり事業	実行委員会に補助金を交付する。併せて事務局を運営する。	実行委員会、執行部会の開催回数	回	10	10	10	10
② 高瀬裏川花しょうぶまつり事業	実行委員会に補助金を交付する。併せて宣伝活動や案内所等の受け入れ業務を行う。	イベント開催期間	日	16	16	16	16
③ 山田の藤PR事業	メディア媒体に対し事業のPRを行う。	イベント開催期間	日	15	14	14	12

《事務事業の成果》 [19]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R04目標	R05目標	R06目標	R07目標
			R04実績	R05実績	R06実績	△
1 観光客数	玉名大俵まつり(20000人)、高瀬裏川花しょうぶまつり(11500人)、草枕ウォーキング(187人)の合計観光客数。()内はR6年度の実績。	人	100000	130000	130000	150000
			119276	126315	135187	△
2 スポーツツーリズム参加者数	ビーチサッカー(200人)、ウォーターサバイバルゲーム(300人)、トレイルラン(351人)、マラニック(438人)の合計参加者数。()内はR6年度の実績。	人	600	800	1100	1400
			730	1043	1289	△

《事務事業の評価》

評価視点		判断理由		
（必妥要当性） 【20】	【実施主体の妥当性】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない	実行委員会形式や市からの委託業務等による実施は十分可能。	
	【目的の妥当性】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり	花しょうぶまつり、大俵まつりは市の中心的なまつりである。また、その他のイベントはスポーツツーリズム等の推進を目的としている。	
	【休廃止の影響】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 影響あり	特にない。	
有効性 【21】	【目標の達成度】 成果指標の目標は達成できたか。 達成、未達成の原因はどのようなことが考えられるか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	各まつり、イベント共に天候にも恵まれ多くの来場があった。	
	【細事業の適当性】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当	参加者数や来場者数を指標としている。	
効率性 【22】	【コストの低減】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり	ウォーターサバイバルやビーチサッカーの委託料については、財源も含めた民間での完全自走化目標としており、達成できれば市からの委託料を削減できると考える。	
	【執行過程の見直し】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり	各種イベントへの参加申込については、WEB等を活用することで事務の簡素化を図ることができる。	
	【民間活力の活用】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	各まつりやイベントは、実行委員会や民間のノウハウ・助言をもらいながら実施している。	
	【類似事業との統合】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	検討の余地はない。	
公平性 【23】	受益者負担について、検討の余地はないか。 徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	各イベントに応じた参加費等を徴収している。	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対する見直し・改善状況 【24】	(前回のふりかえりの内容)
	来場者数の増加につながる活動は現状のまま継続するが、事業内容を今一度精査しながら費用対効果に見合った取り組みを行っていきたい。
(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況)	
次年度の方向性 【25】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了
次年度の方向性に対する判断理由及び見直し・改善の具体的な内容	来場者数は増加しているが、滞在時間の延長や費用対効果に見合ったイベントとなっているのか十分な検証ができていないため、今後はこの点について改善を図っていく。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【26】	評価責任者
「イベント」と「観光」との結び付けを強化とともに参加者の滞在時間を延ばす手法として、「宿泊施設プラン」や「観光案内プラン」等を構築し地域にお金が落ちる「しきみづくり」が必要である。また、既存のイベントを精査し、継続を含めた見直しを図ることで、費用対効果や事務の効率化を図る。	伊藤 恵浩

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	金栗四三PR事業		所管課 【2】	観光物産課		
	作成者(担当者)		牧野 恵大			
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③賑わいと活力ある産業づくり		重点 施策 【4】		
	主要施策(節)	(4)観光・物産プロモーションの推進				
	施策区分				□ 該当	
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	■ 市長公約					
	□ 法令、県・市条例等【	】		】		
事業区分 【6】	□ その他の計画【	】		□ 該当なし		
	■ ソフト事業 □ 義務的事業 □ 建設・整備事業 □ 施設の維持管理事業					
会計区分 【7】	□ 内部管理事務 □ 計画等の策定及び進捗管理事務			■ 一般会計 □ 特別・企業会計【	】 款 7 項 1 目 7 細目 2	

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	大河ドラマの影響を一過性にしないために、金栗四三氏の功績を広く周知し、金栗スピリット及びレガシーを継承していくことが必要となっている。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市民、観光客、全国のマラソン関係者
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	金栗氏とゆかりのある自治体や団体などとの連携の強化を行い、同氏及び市の認知度向上や経済、交流人口の活性化等を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	□ 単年度のみ 【 年度】	■ 単年度繰返し 【 H29 年度から】	□ 期間限定複数年度 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	□ 国 □ 県 ■ 市 □ 民間	□ その他【	】
実施方法 【13】	□ 直営 □ 全部委託・請負 ■ 一部委託・請負 □ 補助金等交付	□ その他【	】
事務事業の具体的な内容 【14】	<p>1 金栗四三PR業務…金栗氏が成し遂げた偉業の更なる磨き上げのため、金栗トロフィーを贈呈する等、金栗氏とゆかりのある自治体や団体などとの連携の強化を図る。 2 大河ドラマ「いだてん」協議会業務…金栗スピリットを軸に、金栗氏ゆかりの地、市内の観光資源及び教育、福祉などをつなぎ、新しい観光誘客の魅力を創造するため、金栗レガシーの掘り起こしならびに「スポーツ」「ウェルネス」「教育」の3つの玉名型ツーリズムを推進する。 3 住家等管理運営委託業務…小田地区金栗四三ゆかりの地保存会に住家・資料館等の管理・運営を委託し、周辺整備を行うことによって、訪問者並びに近隣住民の交通等の利便性向上を図る。</p>		
	<p>【15】 事務事業を構成する細事業(4)本</p> <p>① 金栗四三PR業務 ② 住家等管理運営委託業務 ③ 玉名型3つのツーリズム事業</p>		

《事務事業実施に係るコスト》

		R04年度決算	R05年度決算	R06年度決算	R07年度予算	全体計画
事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0
	受益者負担	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	16,158	16,116	22,178	17,724	0
投入コスト	【16】 小計	16,158	16,116	22,178	17,724	0
	職員人工費	1.11	1.11	1.06	0.00	
	職員の年間平均給与額(千円)	5,429	5,554	5,727	5,752	
	会計年度任用職員人工数	0.77	0.77	0.00	0.00	
	会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)	1,382	1,325	2,273	2,034	
	【17】 小計	7,090	7,185	6,071	0	
	合 计	23,248	23,301	28,249	17,724	

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的な内容)	活動指標	単位	R04実績	R05実績	R06実績	R07計画
① 金栗四三PR業務	ゆかりのある大会や自治体への金栗トロフィー贈呈やゆかりのある学校を訪問するなど、連携の強化を図る。	連携団体数	団体	8	6	6	5
② 住家等管理運営委託業務	金栗氏のゆかりの地である住家やお墓等の周辺整備を行い、訪問者並びに近隣住民の利便性向上を図る。	整備回数	回	32	42	39	40
③ 玉名型3つのツーリズム事業	3つの玉名型ツーリズム関連事業の遂行及びイベントを開催する。	イベント開催数	回	6	7	7	6

《事務事業の成果》 [19]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R04目標	R05目標	R06目標	R07目標
			R04実績	R05実績	R06実績	△
1 観光入込客数	交流人口の増加人数 (入込観光客数)	千人	2500	2500	2500	2500
			1528	1837	1852	△
2 金栗四三翁住家・資料館入込客数	毎月月末報告	人	1500	1500	2000	2000
			1355	1947	1347	△

《事務事業の評価》

評価視点		判断理由		
（必妥要当性） 【20】	【実施主体の妥当性】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない	本事業を行う者が他になく、市が主導すべきであるが、一部民間と協力して実施すべき事業もある。	
	【目的の妥当性】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input type="checkbox"/> 必要なし <input checked="" type="checkbox"/> 必要あり	大河ドラマから5年経過しているので目的を見直す余地はある。	
	【休廃止の影響】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり	交流人口が減少することが見込まれる。	
有効性 【21】	【目標の達成度】 成果指標の目標は達成できたか。 達成、未達成の原因はどのようなことが考えられるか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	県内の来訪者が大きく減少している。これはコロナが収束し近場の旅行から遠方の旅行にシフトしたことが考えられる。	
	【細事業の適当性】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当	目的に即した細事業である。	
効率性 【22】	【コストの低減】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり	事業を改めて見直し他部署で連携して実施できるところは予算削減を図る。	
	【執行過程の見直し】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	現状の導入は難しい。	
	【民間活力の活用】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり	民間事業者と連携して実施している。	
	【類似事業との統合】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり	教育やスポーツ分野と関連できる余地はある。	
公平性 【23】	受益者負担について、検討の余地はないか。 徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	負担に見合う対価を検討する必要がある。	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対する見直し・改善状況	(前回のふりかえりの内容)		
	引き続き、地元及び他団体との連携を図りつつ金栗スピリットを継承し、玉名市及び金栗翁の認知度向上に努める。また、今年度はストックホルムマラソン等に参加し金栗トロフィーを贈呈する等、金栗氏とゆかりのある自治体や団体などとの国内だけではなく、国外との連携を強める。3つのツーリズム事業については、協議会で実施していた事業を当市で実施する事業に集約し、他部署との連携・調整を図りながら取り組みを行っていく必要がある。		
次年度の方向性 【25】	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況)		
	国外については、スウェーデンのソレントウナ市やストックホルム日本人会への訪問を機契として、現地の小中学生との交流が開始され、本年度も継続して交流を行っていく。国内については昨年度は前年に比べ金栗四三翁住家・資料館入込客数が大きく減少している。今年度は金栗四三翁の生家がある和水町と連携を行い、イベントや情報発信を行っていく。		
次年度の方向性に対する判断理由及び見直し・改善の具体的な内容	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続		
	<input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了		
引き続き、地元及び他団体との連携を図りつつ金栗スピリットを継承し、玉名市及び金栗翁の認知度向上に努める。金栗氏とゆかりのある自治体や団体など連携を強める。3つのツーリズム事業については、前年度反響のよかつたスイーツマラニックについては、市内の観光事業者や関係団体と連携を図りながら訴求力の高いイベントを目指していく。			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 [26]	評価責任者
金栗翁の偉業・精神を後世に引き継いでいくためにも、地元や他団体が主体となり金栗スピリットを継承していくことが望ましいと考える。その中で、地元及び他団体との連携を図りつつ金栗スピリットを継承し、玉名市及び金栗翁の認知度向上に努めていく。 特にスイーツマラニックは、補助金を活用しながら今後開催数や参加者の増加を図り、将来的には観光協会を中心として民間団体が主体となった運営体制を目指す。	伊藤 恵浩

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	受け入れ態勢整備事業		所管課 【2】	観光物産課				
	作成者(担当者)			笠原 大志郎				
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③賑わいと活力ある産業づくり			重点 施策 【4】			
	主要施策(節)	(4)観光・物産プロモーションの推進						
	施策区分	(1)インバウンド事業の推進			□ 該当			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input checked="" type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【】 <input type="checkbox"/> その他の計画【】							
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務							
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【】							
	款 7 項 1 目 4 細目 5							

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	観光客が求める多種多様なニーズに対応するため、市民、観光関係団体、行政が一体となって受け入れ態勢の整備を行う必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市民及び観光客
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	玉名市ならではの着地型旅行商品の開発および観光ウェブサイトの充実を図ることに加えて、市内18宿泊施設に対する感染症対策の認証を継続することで、リピーターの増加を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【】	
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【】	
事務事業の具体的な内容 【14】	・観光客が求める多種多様なニーズに対応するため、玉名市ならではの着地型旅行商品の開発及び観光WEBサイトの充実を図る。また、市内18宿泊施設に対する感染症対策の認証を継続することで、受け入れ態勢の整備を図る。	【15】 事務事業を構成する細事業(4)本  ① 玉名ファンマーケティング事業 ② 観光サイト「タマてバコ」管理運営業務委託 ③ くまモン活用地域資源創出業務委託事業

《事務事業実施に係るコスト》

		R04年度決算	R05年度決算	R06年度決算	R07年度予算	全体計画
事業費 (千円)	国庫支出金	0	5,000	5,000	0	0
	県支出金	0	6,600	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0
	受益者負担	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	2,045	6,309	8,099	2,698	0
	【16】 小計	2,045	17,909	13,099	2,698	0
職員件の費 投入コスト	職員人工数	0.45	0.62	0.55	0.55	
	職員の年間平均給与額(千円)	5,429	5,554	5,727	5,752	
	会計年度任用職員人工数	0.00	0.00	0.00	0.00	
	会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)	1,382	1,325	2,273	2,034	
	【17】 小計	2,443	3,443	3,150	3,164	
合計	4,488	21,352	16,249	5,862		

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R04実績	R05実績	R06実績	R07計画
① 玉名ファンマーケティング事業	観光客の滞在時間を延ばすため体験型の旅行商品を開発する。	会議開催回数	回	5	3	7	7
② 観光サイト「タマてバコ」管理運営業務委託	観光案内WEBサイトタマてバコを活用した情報発信	情報発信回数	回	15	18	6	12
③ くまモン活用地域資源創出業務委託事業	くまモンを活用することで、観光客の増加・滞在時間の延長による玉名市経済の発展、地域の魅力向上を図ることを目的とする	参画事業者数	軒	***	14	16	18

《事務事業の成果》 [19]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R04目標	R05目標	R06目標	R07目標
			R04実績	R05実績	R06実績	△
1 着地型旅行商品参加者数	参加者数	人	100	500	650	800
			603	619	758	△
2 着地型旅行商品数	商品数	本	17	18	15	11
			12	10	11	△

《事務事業の評価》

評価視点		判断理由		
(必妥要当性)【20】	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)。	<input type="checkbox"/> 市が実施すべき <input checked="" type="checkbox"/> 市が実施する必要はない	民間主体でできることが望ましい	
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり	目的に変化はない	
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり	市内観光関連事業者に影響を及ぼす可能性あり	
有効性【21】	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。 達成、未達成の原因はどのようなことが考えられるか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	達成。参加者数はイベント開催で増大した。受け入れ事業者の人手不足などにより商品増加は難しいため目標値は現状維持。	
	【細事業の適当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当	目的に即している	
効率性【22】	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	補助金を活用するなど必要最低限の予算で実施している	
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	最適な方法で実施している	
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	最適な方法で実施している	
	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	類似事業なし	
公平性【23】	受益者負担について、検討の余地はないか。 徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	受益者負担が望ましいものについては検討していく	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対する見直し・改善状況	(前回のふりかえりの内容)		
	発信力のあるくまモンとコラボした「くまモンタウン玉名」事業にて今年度制作したくまモン像やガチャガチャなどを活用して、観光客が市内で楽しめる受け入れ態勢整備を進めていく。 H30年5月に開設した玉名市公式観光案内サイト「タマてバコ」については、コンテンツの追加や改修を検討していく。		
[24]	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況)		
	発信力のあるくまモンとコラボした「くまモンタウン玉名」事業にて前年度制作したくまモン像やガチャガチャなどを活用して、観光客が市内で楽しめる受け入れ態勢整備を進めた。H30年5月に開設した玉名市公式観光案内サイト「タマてバコ」については、コンテンツの追加や改修を適時実施した。		
次年度の方向性 [25]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了		
	次年度の方向性に対する判断理由及び見直し・改善の具体的な内容		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 [26]	評価責任者
令和5年2月に策定した第2期観光振興計画においても、「着地型観光商品開発の推進」は重点アクションプランと位置付けられており、引き続き(一社)玉名観光協会を軸として幅広い業種の関係者と連携しながら、新商品の開発及び既存商品の見直し・磨き上げを図る必要がある。	伊藤 恵浩

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	情報発信事業		所管課 【2】	観光物産課		
	作成者(担当者)		平野 徹			
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③賑わいと活力ある産業づくり		重点 施策 【4】		
	主要施策(節)	(4)観光・物産プロモーションの推進				
	施策区分	(1)インバウンド事業の推進			□ 該当	
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	□ 市長公約					
	□ 法令、県・市条例等【 】			■ 該当なし		
事業区分 【6】	■ ソフト事業	□ 義務的事業	□ 建設・整備事業	□ 施設の維持管理事業		
	□ 内部管理事務	□ 計画等の策定及び進捗管理事務				
会計区分 【7】	■ 一般会計	□ 特別・企業会計【 】	款 7 項 1 目 4 細目 7			

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	玉名市に数多くある観光資源をより多くの方に知っていただくために、イベントごとの観光プロモーションやメディア媒体を活用した情報発信を行い、玉名市の認知度向上を図る必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	観光客
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	情報発信のための様々なツールを活用することで、玉名市の認知度向上を促し、県外からの観光客を誘客して集客拡大と地域活性化を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	□ 単年度のみ 【 年度】	■ 単年度繰返し 【 H17 年度から】	□ 期間限定複数年度 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	□ 国	□ 県	■ 市
実施方法 【13】	□ 直営	□ 全部委託・請負	■ 一部委託・請負
事務事業の具体的な内容 【14】	ターゲット地域を中心に誘客キャンペーンを実施する。(5月九州内しうぶまつりキャンペーン、11月玉名大俵まつり、12月以降の玉名温泉あつたか物語、2月玉名ふるさとフェアin大阪、その他全国事業) 市ホームページやメディア媒体を活用して各種イベント等を情報発信、また、民間のホームページ等も活用して情報発信。 年に2回、玉名の旬な情報を掲載するパンフレット作成。	【15】 事務事業を構成する細事業(6)本 ① 玉名温泉観光大使就任企画事業業務委託 ② 玉名観光魅力アップ事業 ③ 観光素材説明会業務委託事業	

《事務事業実施に係るコスト》

事業費 (千円)	職員件の費	R04年度決算	R05年度決算	R06年度決算	R07年度予算	全体計画
		国庫支出金	0	0	0	0
事業費 (千円)	県支出金	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0
	受益者負担	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
投入コスト	一般財源	7,144	12,582	8,079	6,541	0
	【16】 小計	7,144	12,582	8,079	6,541	0
	職員人工数	0.35	0.49	0.55	0.55	
	職員の年間平均給与額(千円)	5,429	5,554	5,727	5,752	
	会計年度任用職員人工数	0.00	0.00	0.00	0.00	
	会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)	1,382	1,325	2,273	2,034	
	【17】 小計	1,900	2,721	3,150	3,164	
	合 计	9,044	15,303	11,229	9,705	

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R04実績	R05実績	R06実績	R07計画
① 玉名温泉観光大使就任企画事業業務委託	ターゲット層にメディア媒体で情報発信	SNSの発信回数	回	—	—	3	—
② 玉名観光魅力アップ事業	ターゲット地域を中心に誘客案内実施	観光案内パンフレットの発行回数	回	2	2	2	2
③ 観光素材説明会業務委託事業	観光資源を媒体に観光に関連した事業者への説明会を実施	説明会回数	回	—	—	1	—

《事務事業の成果》 [19]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R04目標	R05目標	R06目標	R07目標
			R04実績	R05実績	R06実績	△
1 観光客総入込客数	県に報告した玉名市の観光統計の総入込客数	千人	2000	2000	2200	2200
2			1528	1837	1852	△

《事務事業の評価》

	評価視点	判断理由	
(必妥要当性)	【実施主体の妥当性】【20-1】市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)。	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない	民間事業者の情報発信に加えて市として広報等の情報発信を行うことで相乗効果が期待できる。
	【目的の妥当性】【20-2】社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり	目的に変化はない。
	【休廃止の影響】【20-3】事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 影響あり	市民生活に直ちに影響のあるものではないが、市内観光関連事業者に影響がある可能性がある。
有効性	【目標の達成度】【21-1】成果指標の目標は達成できたか。達成、未達成の原因はどのようなことが考えられるか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	コロナ禍からの回復途中である。
	【細事業の適当性】【21-2】目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当	目的に即した細事業である。
効率性	【コストの低減】【22-1】コストの低減について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	予算内で、より効果がある媒体を厳選している。
	【執行過程の見直し】【22-2】執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり	紙媒体での発信も依然必要であるが経費が発生するため、よりデジタル活用を検討していく。
	【民間活力の活用】【22-3】民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり	玉名観光協会を軸に発信力(SNS等)を高める必要がある。
	【類似事業との統合】【22-4】目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	類似事業なし
公平性	受益者負担について、検討の余地はないか。徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	受益者負担は目的にそぐわない。
[23]			

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対する見直し・改善状況	(前回のふりかえりの内容)
	イベントなどが再開され始めた令和4年度から、3年かけて観光総入込客数をコロナ禍前の220万人に戻すべく、各種事業に取り組み、情報発信にも努めている。入込客数は国内客、インバウンドともに回復傾向にあるため、令和6年度に目標を達成できるよう引き続き情報発信に取り組む。
[24]	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況) 限られた予算の中で、広告やPRの機会を活用しながら情報発信を行った。多くの人の目にとまるような情報発信・手をとめて、見てももらえるような情報発信を行う。旅手帳やタマテバコといった媒体をより多くの人に知つてもらえるように取り組む必要がある。
次年度の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了
次年度の方向性に対する判断理由及び見直し・改善の具体的な内容	令和4年度から2か年連続で観光総入込客数は増加したが目標には達することができなかった。今後観光客増加を目指していくためにもターゲットを絞り観光客を邀きより効果的な情報発信を心がけて行っていく必要がある。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 [26]	これまで同様、旅行雑誌などの広告媒体からSNSなどのインターネットを活用した情報発信が有効と考える。 玉名市が運営する観光情報サイト「タマテバコ」を主軸に、今後さらに内容を充実させ、アクセス数を増やすことで広告費の削減につなげる。	評価責任者 伊藤 恵浩
----------------------	--	----------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	インバウンド推進事業		所管課 【2】	観光物産課		
			作成者(担当者)	大倉 千寿		
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③賑わいと活力ある産業づくり	重点施策【4】			
	主要施策(節)	(4)観光・物産プロモーションの推進				
	施策区分	(1)インバウンド事業の推進				
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	■ 市長公約					
	□ 法令、県・市条例等【	】				
	■ その他の計画【 観光振興計画	】				
事業区分 【6】	■ ソフト事業	□ 義務的事業	□ 建設・整備事業	□ 施設の維持管理事業		
	□ 内部管理事務	□ 計画等の策定及び進捗管理事務				
会計区分 【7】	■ 一般会計	□ 特別・企業会計【	】	款 7 項 1 目 4 細目 17		

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	人口減少による国内観光需要の増加が見込めず、今後は国の施策に伴い国内への外国人観光客の増加が予想される中において、当市への誘客を図るためプロモーションを実施する必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	外国人観光客
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	ターゲット国に対するプロモーションを継続することにより、認知度向上を図り、その結果多くの外国人観光客が玉名を訪れることで経済効果を生み地域活性化を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度
	【 年度】	【 H28 年度から】	【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国	<input type="checkbox"/> 県	<input checked="" type="checkbox"/> 市
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 全部委託・請負	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負
<input type="checkbox"/> 補助金等交付			<input type="checkbox"/> その他【 】
事務事業の具体的な内容 【14】	<ul style="list-style-type: none"> ・地方創生加速化交付金及び推進交付金の両調査事業の結果に基づいて、本市のインバウンドターゲット国である台湾、香港をはじめ東アジアを中心とした海外での旅行博出展や現地エージェント及びメディア等に対してのセールスを実施する。 ・玉名市を訪れる外国人観光客の受け入れをサポートするため、多言語パンフレットや指差し手帳及び多言語に対応した観光ウェブサイトを運用する。 		
	<p>【15】事務事業を構成する細事業(2)本</p> <p>① 海外販路拡大事業</p> <p>② インバウンド推進事業</p> <p>③</p>		

《事務事業実施に係るコスト》

		R04年度決算	R05年度決算	R06年度決算	R07年度予算	全体計画
事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	4,752	0	0
	起債	0	0	0	0	0
	受益者負担	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	9,199	7,973	4,673	9,154	0
	【16】小計	9,199	7,973	9,425	9,154	0
	職員人工数	0.22	0.98	0.80	0.80	
	職員の年間平均給与額(千円)	5,429	5,554	5,727	5,752	
	会計年度任用職員人工数	0.00	0.00	0.00	0.00	
職人 員件 の費	会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)	1,382	1,325	2,273	2,034	
	【17】小計	1,194	5,443	4,582	4,602	
	合計	10,393	13,416	14,007	13,756	

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的な内容)	活動指標	単位	R04実績	R05実績	R06実績	R07計画
① 海外販路拡大事業	これまで地方創生推進交付金や自治体国際化協会の助成を受け実施し、一定の成果を残してきた海外販路拡大事業を持续	商談回数	回	3	2	5	3
② インバウンド推進事業	いちごマラソン等イベントへの海外からのツアー造成	商談回数、実施回数	回	2	5	4	4
③							

《事務事業の成果》 [19]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R04目標	R05目標	R06目標	R07目標
			R04実績	R05実績	R06実績	△
1 外国人宿泊者数	県の観光統計による外国人宿泊者数	人	500	1500	3500	8000
			738	3306	6137	△
2 海外輸出額	海外販路開拓支援事業に取り組む市内事業者の輸出額実績を聞き取りにて把握	千円	20,000	50,000	60000	60000
			47,483	54783	48593	△

《事務事業の評価》

評価視点		判断理由	
（必妥要当性） 【20】	【実施主体の妥当性】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)。	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない	市が主導して民間と協力して実施すべき。
	【目的の妥当性】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり	インバウンド需要が増加しており社会情勢に即している。
	【休廃止の影響】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり	交流人口が減少することで、域内の消費が低下するなどの影響が考えられる。
有効性 【21】	【目標の達成度】 成果指標の目標は達成できたか。 達成、未達成の原因はどのようなことが考えられるか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	一部未達成。天候による影響を受けたことが大きいため。
	【細事業の適当性】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当	目的に即している。
効率性 【22】	【コストの低減】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	最低限のコストにて実施している。
	【執行過程の見直し】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	実際の訪問に加え、WEB会議なども活用している。
	【民間活力の活用】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	民間事業者と連携して実施している。
	【類似事業との統合】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	類似事業なし。
公平性 【23】	受益者負担について、検討の余地はないか。 徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	受益者負担は事業目的に沿わない。

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対する見直し・改善状況	(前回のふりかえりの内容)
	海外販路拡大事業においては、玉名の特産品の輸出において風穴を開いた地域からの誘客にも取り組む。具体的には香港の熊本県アンテナショップである椎茸と連携し、料理長と連絡が産地を視察しながらツアーを実施し、生産者との交流を行なうことで、産地のファンになってもらうことで、交流人口の増加にも取り組む。 第44回横島いちごマラソン大会に伴うインバウンドツアー受入を実施。新型コロナウイルス感染症は制限緩和されたが、海外渡航に抵抗があることで今年は10人の参加を受け入れ、ツアー前日は歓迎パーティーを実施した。又、トップセールスの際に緊がりができた桃園市及び竹北市とも今後の交流を図りたい。
【24】	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況)
次年度の方向性 【25】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
次年度の方向性に対する判断理由及び見直し・改善の具体的な内容	海外販路拡大事業において、輸出額は対前年比で輸出額が減少した。理由は夏場の高温や裏年の影響でいちごや柑橘類が不作だったことなどの影響で、事業に取り組みだして以来始めて輸出額が前年を下回る結果となった。これまでに確立した販路やネットワークを活かし、V字回復できよう関係者との調整を行う。 TSMCの進出も追い風となり、インバウンドの観光入込客数は大幅に増加している。インバウンド推進事業においては、第45回横島いちごマラソン大会に伴いインバウンドツアー受入を実施し、前年度を大幅に上回る29人の参加を受け入れた。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 [26]	(インバウンド) 観光については、TSMCの進出もあり台湾がこれまでよりも更に重要なターゲット国となっているため、力を入れて誘客活動を行っていかたい。 (海外販路) 海外販路拡大事業については、地方創生推進交付金や一般財団法人自治体国際化協会の助成を受けてこれまで実施し、R7年度は県補助金「夢チャレンジ事業」を活用して取組む。	評価責任者 伊藤 恵浩
----------------------	---	----------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	玉名圏域定住自立圏事業		所管課 【2】	観光物産課				
	作成者(担当者)			牧野 恵大				
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③賑わいと活力ある産業づくり			重点 施策 【4】			
	主要施策(節)	(4)観光・物産プロモーションの推進						
	施策区分	(2)着地型旅行商品開発の推進			□ 該当			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	□ 市長公約 □ 法令、県・市条例等【 ■ その他の計画【 玉名圏域定住自立圏共生ビジョン 】 □ 該当なし							
	■ ソフト事業 □ 義務的事業 □ 建設・整備事業 □ 施設の維持管理事業 □ 内部管理事務 □ 計画等の策定及び進捗管理事務							
事業区分 【6】	■ 一般会計 □ 特別・企業会計【 】 款 7 項 1 目 1 細目 6							

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	玉名市、玉東町、和水町及び南関町との協議等を経て、圏域の将来像や協定に基づき関係市町で連携し推進していく具体的取組を行う必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市民及び観光客
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	圏域が有する自然・景観・歴史等の魅力ある地域資源や特色を活用し、新しい生活様式に対応した持続可能な広域(圏域)観光地域づくり事業を行い、交流人口の増大を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	□ 単年度のみ 【 年度】	□ 単年度繰返し 【 年度から】	■ 期間限定複数年度 【 H30 年度～ R8 年度まで】
事業主体 【12】	□ 国 □ 県 □ 市 □ 民間	■ その他【 玉名圏域定住自立圏(1市3町) 】	
実施方法 【13】	□ 直営 ■ 全部委託・請負 □ 一部委託・請負 □ 補助金等交付	□ その他【 】	
事務事業の具体的な内容 【14】			【15】 事務事業を構成する細事業(2)本 ➡ ① ニューノーマル時代の広域(圏域)観光地域づくり事業 ② 玉名市入り込み客数220万人達成誘客事業 ③

《事務事業実施に係るコスト》

		R04年度決算	R05年度決算	R06年度決算	R07年度予算	全体計画
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	508	508	508	0
		一般財源	16,492	16,492	16,492	4,492
		【16】 小計	17,000	17,000	17,000	5,000
	職員件の費	職員人工数	0.18	0.29	0.23	0.00
		職員の年間平均給与額(千円)	5,429	5,554	5,727	5,752
		会計年度任用職員人工数	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)	1,382	1,325	2,273	2,034
		【17】 小計	977	1,611	1,317	0
		合 计	17,977	18,611	18,317	5,000

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的な内容)	活動指標	単位	R04実績	R05実績	R06実績	R07計画
① ニューノーマル時代の広域(圏域)観光地域づくり事業	公式LINEアカウント友達登録者限定の特別なツアーを開催し、圏域ファンの増加を図る	ツアー開催数(オンライン・リアル共)	回	6	5	4	-
② 玉名市入り込み客数220万人達成誘客事業	バスツアーを中心に旅行商品を造成し、年度毎の目標実送客数達成を目指す	旅行商品造成数	本	9	10	12	-
③							

《事務事業の成果》 [19]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R04目標	R05目標	R06目標	R07目標
			R04実績	R05実績	R06実績	
1 公式LINEアカウント友達登録者数	圏域の公式LINEアカウント友達登録者数の増加を図り、圏域ファンへ情報発信を行っていく。	人	***	1,000	1500	-
			864	1210	1694	△
2 圏域入込客数	入込客数は新型コロナの影響に伴い落ち込んでいるため、誘客事業を実施し2024年度には入込客数3,000千人達成を目指す	千人	2,800	2,900	3000	-
			3,259	3358	3159	△

《事務事業の評価》

評価視点		判断理由		
(必妥要当性性)	【実施主体の妥当性】[20-1] 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)。	<input type="checkbox"/> 市が実施すべき <input checked="" type="checkbox"/> 市が実施する必要はない	観光協会で実施できることが望ましい。	
	【目的の妥当性】[20-2] 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり	旅行者のニーズが多様化している社会情勢に即している。	
	【休廃止の影響】[20-3] 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり	市民生活に直ちに影響のあるものではないが、市内観光関連事業者に影響がある可能性がある。	
有効性	【目標の達成度】[21-1] 成果指標の目標は達成できたか。達成、未達成の原因はどのようなことが考えられるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	コロナが落ち着き、人の移動が活性化し、各自治体もイベントの規制等が緩くなったことが考えられる。	
	【細事業の適当性】[21-2] 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当	目的に即した細事業である。	
効率性	【コストの低減】[22-1] コストの低減について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	最低限の必要額で実施している。	
	【執行過程の見直し】[22-2] 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	既にSNSの活用、旅行商品のWEB販売など、効率化を図り実施している。	
	【民間活力の活用】[22-3] 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり	既に産・官・学連携して取り組んでいる事業である。	
	【類似事業との統合】[22-4] 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	類似する事業はない	
公平性	受益者負担について、検討の余地はないか。徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	受益者負担を必要とするものではないため。	
[23]				

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対する見直し・改善状況	(前回のふりかえりの内容)
	今年度は宿泊ツアーを実施せず、日帰りツアーのみを行う。宿泊ツアーに使用していた予算をLINE友達あてに月1クーポンorお土産品を渡したりし、今いる友達大事にしていき離脱率を下げるような取り組みを行っていく。
(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況)	
[24]	令和6年度はLINEによるイベント告知等が月に1回程度でうまくできていなかった。令和7年度においてはインフルエンサーによる移住観光体験や観光コンテンツをInstagramにて配信し、多くの方に玉名圏域を知ってもらう。
次年度の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了
次年度の方向性に対する判断理由及び見直し・改善の具体的な内容	令和6年度はツアーをメインに実施してきたが、一部のコアな圏域ファンの参加が多く、それ以外への広がりが生まれなかつた。令和7年度はLINEからInstagramへと情報発信の手法を変更し、幅広く情報を拡散することにより圏域ファンを取り込んでいく。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見	評価責任者
[26]	広域観光政策の実現については、近隣市町の連携協力が大前提であるものと考える。今後もより多くの観光客に広域観光の魅力をPRし、認知していただく必要があると考える。

伊藤 恵浩

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	協議会等連携・支援事業		所管課 【2】	観光物産課				
	作成者(担当者)			大倉 千寿				
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③賑わいと活力ある産業づくり			重点 施策 【4】			
	主要施策(節)	(4)観光・物産プロモーションの推進						
	施策区分	(2)着地型旅行商品開発の推進			□ 該当			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	□ 市長公約 □ 法令、県・市条例等【】							
	□ その他の計画【】 ■ 該当なし							
事業区分 【6】	■ ソフト事業	□ 義務的事業	□ 建設・整備事業	□ 施設の維持管理事業				
会計区分 【7】	□ 内部管理事務	□ 計画等の策定及び進捗管理事務	■ 一般会計	□ 特別・企業会計【】	款 7 項 1 目 4 細目 8			

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	観光関連における九州域内の各種協議会との連携を図り情報を共有するとともに、財政的あるいは人的な支援を行いながら、玉名市の観光振興につなげていく必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	観光客
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	観光関係の協議会等と連携を図り、支援をすることで、観光産業の振興を促し多くの観光客に来てもらう。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	□ 単年度のみ 【 年度】	■ 単年度繰返し 【 H17 年度から】	□ 期間限定複数年度 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	□ 国	□ 県	■ 市 □ 民間 □ その他【】
実施方法 【13】	□ 直営	□ 全部委託・請負	□ 一部委託・請負 ■ 補助金等交付 □ その他【】
事務事業の具体的な内容 【14】	<p>・玉名を訪れる観光客を受け入れるために、案内板の便宜設置、観光ガイドの発掘育成や各観光関連事業所スタッフの接遇及びおもてなし力向上を図るために、玉名観光協会及び玉名温泉観光旅館協同組合等に対して補助金交付や人的な支援を行なう。 ・県北観光協議会と連携するとともに、負担金を支出し、観光PR等の事業を推進する。 ・九州観光都市連盟と連携するとともに、観光PR等の事業を推進する。 ・熊本県観光連盟と連携するとともに、負担金を支出し、観光PR等の事業を推進する。 ・くまもとうまかもん輸出支援協議会と連携するとともに、負担金を支出し、物産PR等の事業を推進する。</p>		
	<p>【15】 事務事業を構成する細事業(14)本</p> <p>⇒</p> <p>① あらたまツーリズム協議会事業</p> <p>② 玉名観光協会事業</p> <p>③ 玉名温泉活性化事業</p>		

《事務事業実施に係るコスト》

	R04年度決算	R05年度決算	R06年度決算	R07年度予算	全体計画
事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	受益者負担	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	30,044	23,442	23,777	24,626
	【16】 小計	30,044	23,442	23,777	24,526
投入コスト 職員件の費	職員人工数	0.68	0.64	0.40	0.40
	職員の年間平均給与額(千円)	5,429	5,554	5,727	5,752
	会計年度任用職員人工数	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)	1,382	1,325	2,273	2,034
	【17】 小計	3,692	3,555	2,291	2,301
	合計	33,736	26,997	26,068	26,927

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R04実績	R05実績	R06実績	R07計画
① あらたまツーリズム協議会事業	補助金交付・人的支援を実施することにより観光振興を図る。	イベント開催回数	回	1	1	0	0
② 玉名観光協会事業	補助金交付・人的支援によるイベント実施や環境整備	イベント開催回数	回	0	2	2	3
③ 玉名温泉活性化事業	県北の自治体と連携して観光PRを実施する。	観光PR回数	回	2	3	2	3

《事務事業の成果》 [19]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R04目標	R05目標	R06目標	R07目標
			R04実績	R05実績	R06実績	△
1 観光客数	県の観光統計による入込客数	千人	2000	2000	2000	2000
			1528	1837	1816	△
2 温泉旅館宿泊者数	県の観光統計による宿泊客数	千人	60	110	150	150
			99	121	126	△

《事務事業の評価》

	評価視点	判断理由	
(必妥要当性)【20】	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)。	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない	民間による観光振興を促すため、市が負担すべき。
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり	社会情勢の変化により、目的が変化するものではないため。
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり	交流人口の減少により、域内の消費が低下する。
有効性【21】	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。 達成、未達成の原因はどのようなことが考えられるか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	達成できていない。コロナ禍からの回復による影響がなく、大幅な来訪者数増につながらず、横ばい状態だったためと考えられる。
	【細事業の適当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当	各協議会と連携することで多くの誘客が図れるため細事業の構成は適当である。
効率性【22】	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	適切に支出されており、削減の余地はない。
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	他地域と連携しているため、本市単独では検討できない。
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり	民間とすでに連携しており、ノウハウを活用する余地はある。
	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	類似する事業はない。
公平性【23】	受益者負担について、検討の余地はないか。 徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	受益者負担を必要とするものではないため。

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対する見直し・改善状況	(前回のふりかえりの内容)
	玉名観光協会事業に関しては、組織改革が行われたことで、今後、より連携を強化して事業を進めていくことが期待される。また、協議会事業についても、引き続き参画自治体と連携しながら継続していく。
(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況)	玉名観光協会事業に関しては、より連携を強化して事業を進めていくことができた。協議会事業についても、これまで同様、参画自治体と連携しながら継続していく。
次年度の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了

次年度の方向性に対する判断理由及び見直し・改善の具体的な内容

玉名観光協会事業に関しては、連携強化が図られていることから、現状を継続していくことが適切である。協議会事業については、役割を終えた協議会の整理を行なながら、他自治体等と連携しながら事業を実施していく。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見	評価責任者
[26] 観光関連における九州域内の各種協議会との連携を図り情報を共有するとともに、財政的あるいは人的な支援を行なながら、玉名市の観光振興につなげていく必要がある。加えて本県においてはTSMCの進出に伴い、今後熊本県と台湾の往来が予想されることから、これまで以上に各種協議会構成自治体の親密な連携が必要になると考える。	伊藤 恵浩

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	鍋松原管理運営事業		所管課 【2】	観光物産課				
	作成者(担当者)			永田 浩二				
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③賑わいと活力ある産業づくり			重点 施策 【4】			
	主要施策(節)	(4)観光・物産プロモーションの推進						
	施策区分	(2)着地型旅行商品開発の推進			□ 該当			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	□ 市長公約 □ 法令、県・市条例等【 ■ その他の計画【 第2期玉名市観光振興計画 】 □ 該当なし							
	□ ソフト事業 □ 義務的事業 □ 建設・整備事業 ■ 施設の維持管理事業 □ 内部管理事務 □ 計画等の策定及び進捗管理事務							
事業区分 【6】	■ 一般会計 □ 特別・企業会計【 】 款 7 項 1 目 4 細目 25							

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	昭和63年度から平成11年にかけて砂浜や遊歩道、温浴施設や物産館などが整備され、当時は海水浴場などの時期には約30000人の来場者で賑わっていた。しかししながら、昨今の海離れや娯楽の広範囲化などの要因により、令和2年度の海水浴期間中には約7000人まで減少した。併せて、温浴施設や物産館の来訪者も減少し、令和4年度をもって、物産館については閉館している。一方で、砂浜ではビーチスポーツや前撮りなどの利用が増え、海岸内ではキャンプやBBQなどの利用が行われており、そのジャンルのボテンシャルがある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	玉名市民、観光客など
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	鍋松原海岸全体が、市内外から多くの人が訪れる観光スポットとなるよう整備及び管理運営を行う。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	□ 単年度のみ 【 年度】 【 2024 年度から】	■ 单年度繰返し 【 年度～ 年度まで】	□ 期間限定複数年度 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	□ 国 □ 県 ■ 市 □ 民間	□ その他【 】	
実施方法 【13】	□ 直営 □ 全部委託・請負 ■ 一部委託・請負 □ 補助金等交付	□ その他【 】	
事務事業の具体的な内容 【14】	・岱明コミュニティセンター及び磯の里の改修及び管理運営 ・砂浜の適正管理の実施 ・キャンプ場、BBQ場等の整備及び管理運営	【15】 事務事業を構成する細事業(8)本 ⇒ ① 磯の里改修整備事業 ② 海岸漂着物撤去業務 ③ 岱明コミュニティセンター指定管理業務	

《事務事業実施に係るコスト》

事業費 (千円)	事業費 (千円)	R04年度決算	R05年度決算	R06年度決算	R07年度予算	全体計画
						【16】 小計
国庫支出金		0	0	0	0	0
県支出金		0	0	260	237	0
起債		0	0	0	161,100	0
受益者負担		0	0	0	0	0
その他		0	0	0	10,000	0
一般財源		0	0	41,497	39,243	0
【16】 小計		0	0	41,757	210,580	0
職員人工費		0.00	0.00	0.86	0.00	
職員の年間平均給与額(千円)		5,429	5,554	5,727	5,752	
会計年度任用職員人工数		0.00	0.00	0.00	0.00	
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)		1,382	1,325	2,273	2,034	
【17】 小計		0	0	4,925	0	
合計		0	0	46,682	210,580	

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R04実績	R05実績	R06実績	R07計画
① 機の里改修整備事業	指定管理者による施設の管理運営を行う。	開館日数	件	304	277	300	120
② 海岸漂着物撤去業務	砂浜の整地及び漂着する流木等の撤去及び、海岸内の除草作業や清掃等を行う。	清掃整地回数	件	3	5	5	6
③ 岱明コミュニティセンター 指定管理業務	鍋松原海岸内の樹木等の剪定及び撤去を行う。	剪定及び撤去回数	件	***	5	5	1

《事務事業の成果》 [19]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R04目標	R05目標	R06目標	R07目標
			R04実績	R05実績	R06実績	△
1 岱明コミュニティセンター潮湯利用者数	岱明コミュニティセンター潮湯利用者数	人	***	***	13000	14000
2 自主事業(キャンプ、バーベキュー、ソラシオスイト、健康経営、宿泊布団貸し)利用者数	自主事業(キャンプ、バーベキュー、ソラシオスイト、健康経営、宿泊布団貸し)利用者数	人	***	***	2500	3000

《事務事業の評価》

評価視点		判断理由		
（必妥要当性） 【20】	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)。	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない	海岸一帯の管理を県から市が委託しており、市が実施すべき。	
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり	社会情勢の変化はあるものの、市の施設を適切に管理運営していく必要があるため、見直しは必要ない。	
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり	利用者数が減少することで、交流人口も減少し、域内の消費が低下し、海岸の適切な管理にも影響がある。	
有効性 【21】	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。 達成、未達成の原因はどのようなことが考えられるか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	海岸一帯を適切に管理し、利用者数も増加した。	
	【細事業の適当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当	適切な管理運営と利用者増加を図るため目的は適当である。	
効率性 【22】	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり	指定管理者の自主事業を強化し収入を増加させることで、指定管理料を年々減額していく余地はある。	
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	可能な限り簡素化しており、検討の余地はない。	
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり	民間事業者の自主事業等でノウハウ活用の検討余地はある。	
	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	類似事業はない。	
公平性 【23】	受益者負担について、検討の余地はないか。 徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	利用料金等について、今後は条例改正などを行い適切な受益者負担について検討する余地がある。	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対する見直し・改善状況 【24】	(前回のふりかえりの内容)		
	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況) 施設の指定管理業務や海岸全体の整備など業務自体が煩雑なものとなっているため、これまでの施設等管理運営事業から独立した事務事業として管理を開始した。施設の改修や整備について、関係者と随時情報共有しながら計画どおり進め、来訪者数も増加傾向にある。		
次年度の方向性 【25】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了
次年度の方向性に対する判断理由及び見直し・改善の具体的な内容	鍋松原管理運営事業については、岱明コミュニティセンター潮湯に加え、旧機の里についてもB&G財団の「サテライト型BG拠点事業」の補助を活用し、再整備を行う方向で関係課やB&G財団、指定管理者とも協議を行いながら調整を進めてきた。岱明コミュニティセンター潮湯については、7月頃から1月頃までの期間で中規模改修工事を実施する。旧機の里については、6月頃から11月頃までの期間で改修に伴う基本設計・実施設計委託を実施し、改修に係る費用が固まった段階で「サテライト型BG拠点事業」への申請を行い、令和8年度の改修工事・リニューアルに向けて準備を進めていく。鍋松原海岸一帯を「しおまちパーク」として整備を進め、県北唯一のビーチパークとしての魅力を最大化し、観光客の更なる誘客促進を図る。		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【26】	松原海岸については、引き続き指定管理者と連携を取りながら、活用推進に向け諸々の整備を行っていく。	評価責任者 伊藤 恵浩
----------------------	--	----------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	玉名版DMO構築事業		所管課 【2】	観光物産課					
	作成者(担当者)		大倉 千寿						
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③賑わいと活力ある産業づくり							
	主要施策(節)	(4)観光・物産プロモーションの推進							
	施策区分	(4)玉名版DMOの構築							
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約								
	<input type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 ■ その他の計画【 玉名市デジタル田園都市構想総合戦略 】]								
事業区分 【6】	■ ソフト事業	<input type="checkbox"/> 義務的事業	<input type="checkbox"/> 建設・整備事業	<input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業					
	<input type="checkbox"/> 内部管理事務	<input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務							
会計区分 【7】	■ 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別・企業会計【	】	款 7 項 1 目 4 細目 18					

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	国内の旅行需要が伸び悩やむなか、また定住人口の減少による経済的な損失を補うためには、他の地域からの交流人口を増加させ、民間の経営手法を取り入れた観光地域づくりを推し進める必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	(一社)玉名観光協会及び観光関連事業者
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	本市の観光振興の推進母体である玉名観光協会を軸に、観光地域づくりの舵取り役として推進体制の構築を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ 【 年度】	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し 【 H28 年度から】	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度～ 年度まで】						
	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間	<input type="checkbox"/> その他【	】						
事業主体 【12】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付	<input type="checkbox"/> その他【	】						
実施方法 【13】									
事務事業の具体的な内容 【14】	<p>観光を切り口として交流人口を増加させるため、玉名観光協会を母体としてDMOの構築を図る。令和3年度からは企業で培われた人脈やノウハウのある人材を活用し地域活性化を図るとともに「ひと」の流れを創出する。</p>								
➡			<p>【15】事務事業を構成する細事業(2)本</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">①</td> <td>地域おこし協力隊受入事業</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>地域活性化起業人制度事業</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> </tr> </table>	①	地域おこし協力隊受入事業	②	地域活性化起業人制度事業	③	
①	地域おこし協力隊受入事業								
②	地域活性化起業人制度事業								
③									

《事務事業実施に係るコスト》

		R04年度決算	R05年度決算	R06年度決算	R07年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	13,200	13,200	7,834	8,021
		【16】小計	13,200	13,200	7,834	8,021
	職人件の費	職員人工数	0.20	0.31	0.21	0.21
		職員の年間平均給与額(千円)	5,429	5,554	5,727	5,752
		会計年度任用職員人工数	0.00	0.00	0.77	1.00
		会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)	1,382	1,325	2,273	2,034
		【17】小計	1,086	1,722	2,953	3,242
合 計		14,286	14,922	10,787	11,263	

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R04実績	R05実績	R06実績	R07計画
① 地域おこし協力隊受入事業	市が実施するイベントへの助言提言や観光に関する情報発信を行う。	会議参加数	回	—	—	7	10
② 地域活性化起業人制度事業	観光協会組織改革会議や市及び各種協議会が実施する会議に参加し、助言提言を行う。	会議参加数		77	104	24	25
③							

《事務事業の成果》 [19]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R04目標	R05目標	R06目標	R07目標
			R04実績	R05実績	R06実績	△
1 玉名観光協会会員数	会員数	人	61	65	68	65
			62	66	63	△
2 地域活性化起業人が会議に参加した数	会議参加数	本	100	80	60	30
			77	104	24	△

《事務事業の評価》

	評価視点	判断理由	
(必妥要当性)	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)。	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない	自治体向けの総務省の制度を活用した事業である。
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり	目的に変化はない。
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり	交流人口の減少による消費力低下が考えられる。
有効性	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。 達成、未達成の原因はどのようなことが考えられるか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	観光協会の会員数の低下については、会員の高齢化に伴う事業所の閉業によるものである。地域活性化起業人については、R5年度まで2名いたうちの1名が任期満了となったため。
	【細事業の適当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当	目的に即している。
効率性	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	総務省の交付金事業である。
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	十分検討して実施している。
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	十分に活用している。
	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	類似事業なし。
公平性	受益者負担について、検討の余地はないか。 徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	受益者負担は目的にそぐわない。
[23]			

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対する見直し・改善状況	(前回のふりかえりの内容)
	令和5年度で2人の起業人の内一人が任期満了で派遣終了となった。コロナが第5類に分類され、経済活動が活発になる中で企業では人員不足が課題となっており、新たな人材派遣については難しいと思われる。玉名市の観光の担い手を育成するため、企業からではなく、都市圏から個人を募集する地域おこし協力隊制度の活用を検討したい。 また、組織改革に取り組んできた玉名観光協会においては、令和6年度より事務局を観光物産課と同じフロアに移して、これまで以上に連携を強め、協働して観光事業に取り組む態勢を整える。
[24]	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況)
	R5年度で任期満了になった起業人の内1人は玉名観光協会の事務局長として、組織改革に取り組んでもらっている。R6年度で任期満了となり、派遣終了となつた起業人の後任として新たに1人が同企業から派遣されている。
次年度の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了
次年度の方向性に対する判断理由及び見直し・改善の具体的な内容	地域活性化起業人はR6年度までと同じ企業からの派遣であるが、これまで携わってきた業務内容が異なるため、新たな視点で民間のノウハウを活用して業務に取り組むことが期待される。地域おこし協力隊については着任2年目を迎える、R6年度はこれまで以上に情報発信や事業の企画立案に取り組んでいく。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見	評価責任者	
[26]	地域活性化起業人には玉名観光協会会員をはじめとする地元事業者とも積極的に関わっていただけており、規定策定などと並行して、会員との繋がりの強化、協会の認知度向上にも一役買っている。引き続き地域活性化起業人と協力して観光協会の組織体制の強化を図っていきたい。	伊藤 恵浩